市民との共創を通じたデジタルサービスシステムのアーキテクチャデザイン方法論

赤坂文弥（サービス価値拡張研究チーム）

背景

- デジタル技術（AI, IoTなど）を活用した社会課題解決が強く求められている
- デジタル技術を、社会に価値を提供するサービスの一部と捉え、サービスシステム全体をデザインすることが重要

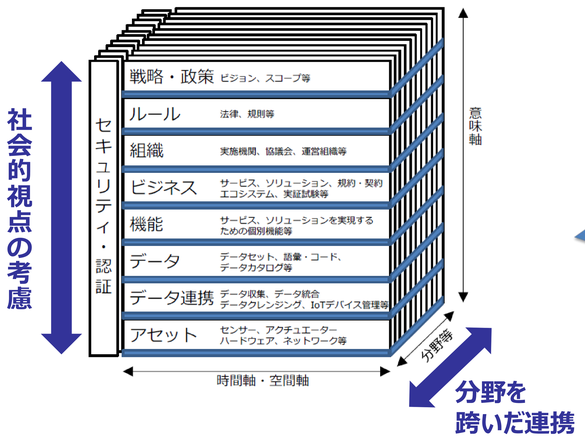
社会に価値を提供するデジタルサービスシステムをデザインするための方法論が必要

- 社会的なシステム（価値や制約）をいかに考慮するか？
- サービス／データ連携で生まれる価値をいかに構想するか？

アプローチ

(1) Service System Modeling with Reference Architecture

Society 5.0 Reference Architecture

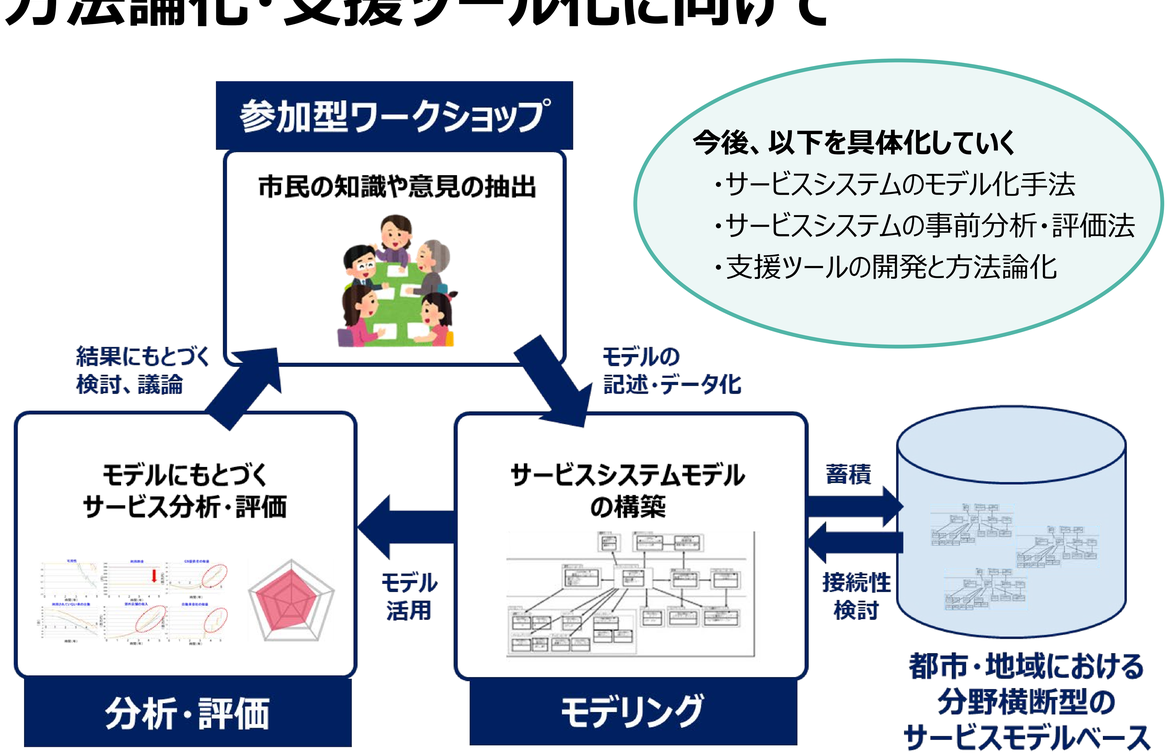


（出典）NEDO「SIP第2期ビッグデータ・AI を活用したサイバー空間基盤技術におけるアーキテクチャ構築及び実証研究」公募要領より

(2) Co-creation with Citizens/Users

ソーシャルラボ、市民アドバイザ制度 @柏の葉

方法論化・支援ツール化に向けて

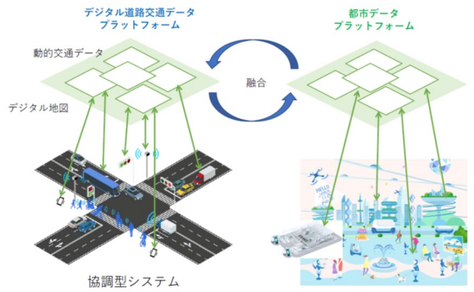


具体事例（フィールド）

自動運転サービス
×　他のモビリティ・都市サービス

自動運転技術を用いた新たなモビリティサービスを、柏の葉の各プレーヤ（市民、企業、大学等）との連携を通じて検討・創出

プロジェクトの実践を通じて個別の手法開発、方法論構築を進める



（出典）RoAD to the L4シンポジウム「混在空間でレベル４を展開するためのインフラ協調や車車間・歩車間の連携などの取組」講演資料より